



2018年度 二次分析研究会課題公募型 研究成果報告会

戦後福祉国家成立期の福祉・教育・生活をめぐる 調査データの二次分析

■ 日時/場所

2019年3月5日(火) 10:30 — 16:10
東京大学(本郷キャンパス) 赤門総合研究棟5階 549 センター会議室

■ プログラム

■ 開会の挨拶 10:30 佐藤香(東京大学)

■ 第1部 10:35-12:40

司会: 小山 裕(東洋大学) コメントータ: 仁平典宏(東京大学)

- 1.『労働調査資料』としての1960年代前半の神奈川県による社会調査
相澤真一(中京大学)・渡邊大輔(成蹊大学)
- 2.「高度経済成長前期のボーダーライン層の貧困形態の社会空間的把握」相澤真一(中京大学)
- 3.「福祉を恥じさせるものはなにか」石島健太郎(帝京大学)
- 4.「戦後低所得世帯における修学資金貸付の意味」太田昌志(東京大学)・白川優治(千葉大学)
- 5.「高度経済成長前期における住宅事情」(1) 佐藤和宏(東京大学)・祐成保志(東京大学)

■ 第2部 13:45-15:30

司会: 小山 裕(東洋大学) コメントータ: 仁平典宏(東京大学)

- 6.「高度経済成長前期における住宅事情」(2) 祐成保志(東京大学)・佐藤和宏(東京大学)
- 7.「階級所属からみた転換期における高齢者の役割」菅沼明正(慶應義塾大学)
- 8.「雇用中心社会の手前での老い——働き方と扶養の視点から」渡邊大輔(成蹊大学)
- 9.「戦後の高齢者に関する生活問題と社会福祉政策の展開——1963年までの動向を中心に」
羅佳(四国学院大学)

■ 第3部 15:35-16:05

公開討議 司会: 佐藤香(東京大学) 話題提供: 仁平典宏(東京大学)・小山裕(東洋大学)

「福祉社会形成期における神奈川県の実証調査から見える計量社会史研究の可能性」

■ 閉会の挨拶 16:05 佐藤香(東京大学)